

目標達成計画

事業所名 愛の家グループホーム郡山日和田

作成日：平成 22 年 4 月 28 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	防災訓練の回数は問題無いが、内容を検討して欲しい。特に、夜間を想定した避難訓練を実施し、スタッフ全員が訓練を受けれる配慮をすること。 また、3階非常階段の踊り場が狭い為、一時的な避難場所となり得ない可能性もある為、踊り場の増設も検討してはどうか。	全スタッフが避難訓練に参加しており、どのように行動したら良いかが理解できている。	①夜間想定避難訓練の回数を増やす。②身体状況の重い方の搬送方法の検討 ③逃げる順番 ④町内会を通し、地域の方の避難訓練への参加を促す ⑤連絡網のシミュレーションの実施 ⑥踊り場の増設を本社へ相談する	6ヶ月
2	26	ケアプランを共通理解していない人がいる。サービス内容ごとに記録を残し、その記録を拾ってモニタリングし見直しにつなげてゆく。ケアプランに沿った記録を書いている人と、書いていない人がいるため全員書けるようにしたい。	焦点に介護計画の〇一〇を実施時の提供内容を記録に落としてゆく。	サービス内容毎に記録を残す。そのように指導する。	4ヶ月
3	1	事業所独自の理念はあるが、掲示されておらず、ホーム長がスタッフ会議で2回程度触れただけである。その為、スタッフはユニット理念が共有できなかった。	出来ているものは掲示してゆく。今年の9月には見直しをしてゆきたい。	ユニット理念を見えるところに、掲示する。ユニット会議でBS法を用いて地域密着型理念を作る。	6ヶ月
4	5	玄関にオートロックを掛けている。鍵が掛けられている弊害に関し、再度検討し来年、再来年と徐々に夜間以外の開放に向けた取り組みを実施したい。	家族に説明し理解を得ると共に、どうしたら施錠せずに安全に過ごす事が出来るかをスタッフ全体でとりくんでゆきたい。	1階の事務所に2人居るときは週1回程度は開錠する日をつくる。単独外出のリスクの高い方のケアを抜本的に見直す。開錠委員を事故対策委員会のなかに取り込む。	1ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。